

カリキュラム・マネジメントとは

カリキュラム・マネジメントを理解するには、**①誰が、②何のために、③何を、④どのように行うのか**、について簡潔にまとめてみるのが得策です。

カリキュラム・マネジメントとは、**校長を中心とする全ての教師が①、学校教育の質の向上を図るために②、教育の内容や方法を③、教育課程（教育計画）に基づいて見直し、改善を図る④こと**である。



カリキュラムは、教育課程と同一ではありません。カリキュラムを構成する主要要素は、次の4つです。

◆教育法規（学習指導要領など） ◆教育課程 ◆子どもの学習経験 ◆資質・能力の定着

各教科の授業をはじめ学校の教育活動の見直し・改善を行う際、まず注目するのは資質・能力の定着の度合いです。次は、子どもの学習経験、子供が何をどのように学んだかです。さらに、教育法規（学習指導要領など）に基づく教育課程にまで視野を広げ、例えば他教科との関連で指導時期を調整する、合科指導の可能性を探る、地域の教育資源や人材を活用するなど、資質・能力の定着をより確かなものにする工夫を施します。

この一連の取組が**カリキュラム・マネジメント**であり、「主体的、対話的で深い学び」と対を成し、いわば「車の両輪」となって学習指導要領の趣旨の実現を図ります。

努力は裏切らない

野球評論家 野村 克也

努力に即効性はないが、努力は決して裏切らない。そして、陰ながらの努力を見てくれる人は必ずいる。

出典：公立学校共済組合東京支部広報誌「かがやき」2018 Winter No.547

※ 結果だけでなく、折々のプロセスを評価したいものです。